

ちょこつとマーケット

(先進国国債利回り・為替)

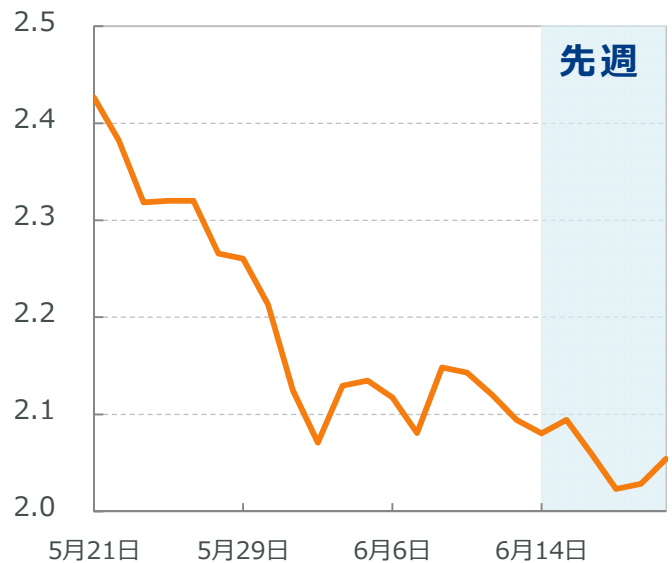
POINT 先進国国債利回り

【2019年6月17日～2019年6月21日】

国債利回りは一段と低下

- ◆米連邦準備制度理事会（FRB）のパウエル議長が今後利下げに転じる可能性を示唆したことなどをを受けて、先進国国債の買いが進み、利回りは低下しました。
- ◆黒田日銀総裁が長期金利の変動幅を「ある程度弾力的に対応する」姿勢を示したことを受けて、市場では日銀が許容する操作目標レンジの下限を試す動きが強まりました。

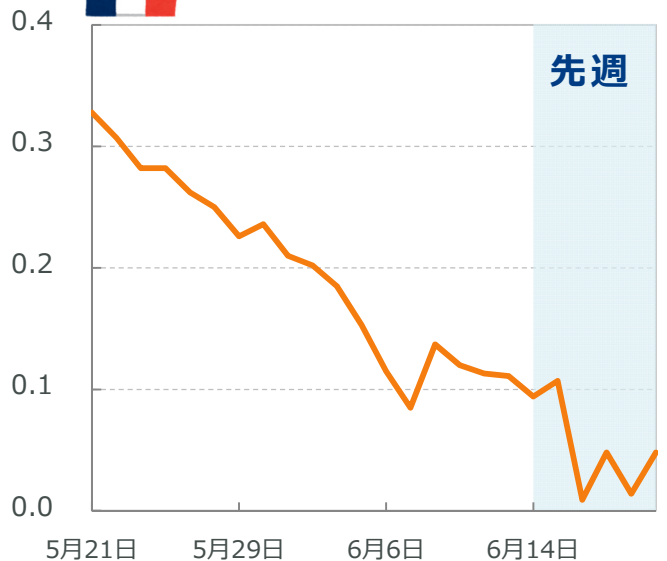
(%)  米国10年国債利回り



(%)  日本10年国債利回り



(%)  フランス10年国債利回り



(注) データは2019年5月21日から2019年6月21日（日次）。

(出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

ちよこつとマーケット

(先進国国債利回り・為替)

POINT  **為替**

【2019年6月17日～2019年6月21日】

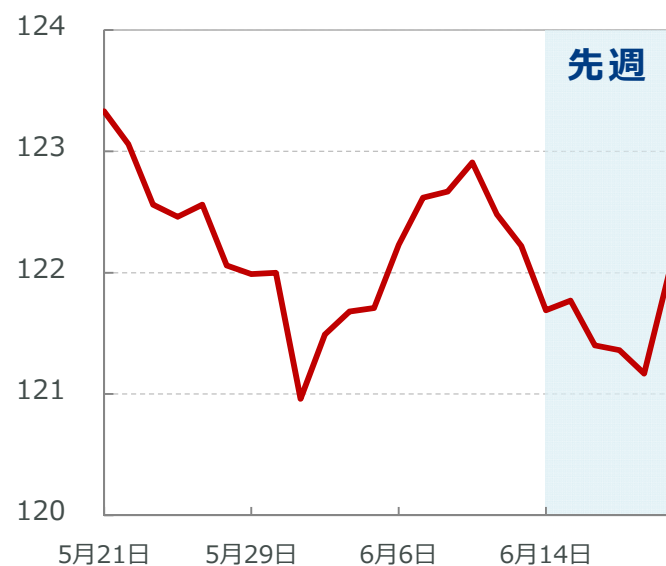
円が対米ドルで上昇

- ◆日米金利差の縮小が意識されたことや、米政府による中国企業への追加禁輸措置などを受けて円買い・米ドル売りが進みました。米国とイランの対立で中東の地政学リスクがくすぶっていることも円の上昇要因となりました。
- ◆堅調な独仏景気指数を背景に欧州景気に対する過度な後退懸念が和らぎ、円は対ユーロでは下落しました。

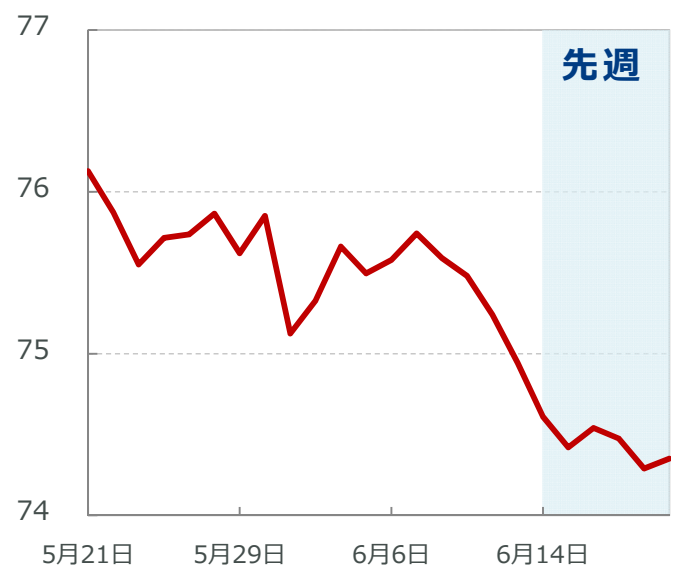
 **米ドル円**



 **ユーロ円**



 **豪ドル円**



(注) データは2019年5月21日から2019年6月21日 (日次)。

(出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。